

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1072100314		
法人名	特定非営利活動法人 か し わ		
事業所名	グループホーム か し わ		
所在地	群馬県高崎市箕郷町柏木沢586-5		
自己評価作成日	平成23年10月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/">http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人群馬社会福祉評価機構		
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12		
訪問調査日	平成23年11月16日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

当施設が一番アピールしたいところは、利用料が良心的で期限のない生活を安心して過ごして頂ける事。全職員が認知症サポーターと応急手当の基礎知識講習を受けている。自衛隊のすぐ近くに位置しており、赤城山、榛名山が一面見渡せ、空気も良し夜は町の夜景が宝石をちりばめた様な絶景な景色です。その中で9名の利用者さんが自由にゆったりとした日々を過ごしております。全員の職員が家族に負けない位の愛を持ち一人一人の利用者さんが寂しい思いをせず安心して暮らせるよう援助しております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

職員は、利用者一人ひとりを尊重し、過去の生活歴の中から永年の調理経験を活かした食事の盛り付けや配膳等本人の得意なことや好きなことを行なう中で、生きがいややりあいのある暮らしができるよう見守りながら支援している。また、運営推進会議を家族の参加しやすい土曜日に行い多くの家族の参加を得て、会議後は個人的に意見を聞く時間を設ける等家族との信頼関係構築に取り組んでいる。また、職員が向上心を持って働けるよう認知症サポーター研修や応急手当での基礎知識等の講習会に全職員が参加し、外部研修には順番で参加してケアの共有化を図るなど、資質向上に取り組みながら利用者が地域の中で安心して暮らしが継続できるよう支援している。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 ○ 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の人達とゆっくりと安らぎのある個人の尊厳を大切に・・・という理念は全職員が共通した認識を持ち実践している。	理念については、入職時に説明を行い、毎月のケア会議や昼休み時などその都度話し合い、全職員で共有している。また、現在の理念を基に、地域に根差した理念を考案中である。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所での行事の祭に、地域の人に声掛けをし地域の人達との交流の場を設けている。又運営推進会議にも区長、介護相談員等の参加がある。	日常の散歩はゴミ拾いをしながら行い、近所の人と挨拶や会話をしたり、隣接の畑で農作業中の住民にお茶を呼びかけたり、収穫したさつまいも等の野菜を頂く等、馴染みの関係を築き、地域の行事にも参加している。また、事業所内の演奏会時に地域住民に呼びかけを行い、地域の子供たちが季節の行事の十日夜に来訪する等、交流が行われている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の人達が施設の行事に参加する機会を設け触れ合ってもらい、理解してもらえる様努めている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者全体のサービスの実態を報告し話し合い出た意見をサービス向上に活かしている。	会議は2ヶ月に1回家族の参加しやすい土曜日に行い、7～9名の参加がある。区長、民生委員、介護相談員、市職員等の参加により、事業所報告や事故報告・意見交換を行い、区長から地域の「いきいきサロン」の紹介があり、参加を心がける等、運営推進会議を活かした取り組みを行なっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の主催する農業祭催し物には利用者と共に参加している。	支所に出向き、市・町主催の行事を把握し、農業祭等に参加し楽しんでいる。また、利用者手作りの雑巾を役場や公民館に届ける等、積極的に協力関係を築くよう努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が周知徹底し身体拘束をしないケアに努めている。	職員は身体拘束をしないケアについて、外部研修参加等により理解している。常時玄関の施錠はせず、入浴介助時等の必要時において、安全確保のために一時的な門扉の施錠を行なっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での虐待が見過ごされる事がないよう注意し又防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は当施設にも該当する利用者がある為、講習がある時は必ず参加し活用できる様努力している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約、料金改定等は利用者の入所時家族を含め納得できるまで説明をし理解してもらっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を玄関先に設置してある。面会時運営推進会議等で意見、要望、不満等を出して頂きそれを運営に反映させている。	運営推進会議時において、会議終了後に個人的に家族の意見を聞くように努めている。玄関に意見箱を設置し、契約時に外部の苦情相談窓口について説明している。また、利用者の直接の意見の把握のため、介護相談員の方に来訪時に依頼する等、意見の収集に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の業務の申し送り、会議等で意見提案を出しその都度話し合いを持ち反映させている。	管理者は、外部研修参加希望や勤務表作成時において職員の希望を聞いている。また、ケア会議で話し合い介護等業務内容の見直しを行い、皆で共有して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	研修を通して、介護者としての能力を向上しやりがいのある仕事、環境づくりに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の向上のため、順番にて研修に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設との交換研修を行いサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	毎日の生活の中で利用者を観察し変化を見のがす事なくチェックし話を聴く機会を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に当ホームに来所して頂き、家族又利用者の希望、不安な事を聴き安心出来るような関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族や本人がどんな事を希望しているかを初期の内に見極め、その人に合った生活をしていけるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で出来る事は手伝ってもらい、人生の先輩として尊敬の気持ちを持ちお互い支え合い過ごしている。		
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の状況を密に報告し本人、家族、職員で共に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、知人には気軽に来所出来るよう家族を通して声掛けをして頂いている。	利用者の知人が家族と共に訪問したり、お盆には、家族と共にお墓参りをしたりする等、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。また、年末年始等には家族等に外泊や外出等を促している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士上手に関わりが持てる様、職員が配慮したり、孤立せず大勢で参加してもらい楽しく生活出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて情報を提供している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の思いや暮らし方の希望を取り入れ、困難な場合は本人の希望を尊重し援助している。	日々の暮らしの中から、本人の思いや希望の把握に努め、家族の意見を参考にしている。また、入居前の施設での状況や生活歴、職歴を大切に職員で話し合い、一人ひとりがどう生活していきたいのか考えながら行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族に聞く又前施設のサマリー等を再確認し、得意な事、喜びにつながる事等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人のケアチェック(バイタル・排泄・入浴・睡眠時間・食事量)現状の把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医の指導、サービス担当者会議での意見、家族、本人の意向、要望等多くの情報を出し合い本人がその人らしい生活が出来るよう介護計画を作成している。	介護計画は、本人や家族の要望を聞き職員から情報を得て、月1回のケア会議で話し合い通常6ヶ月毎に作成している。毎月モニタリングを行っている。身体状況の変化等においては、主治医に意見を聞き、常に現状に即した計画を作成して皆で共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子(ケア記録・日勤簿・夜勤簿等)を個別に記録し情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	GH単独型であり、認知症対応型共同生活介護のみの支援である。(通院、買物等には応じている)		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	介護相談員、民生委員、地域のボランティアの方々の協力を得、時には本人自身も何か出来る事はと、散歩時空き缶拾い、ゴミ拾いなどしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を大切にし主治医と事業所との関係を築きながら、安心して適切な医療を受けられる様支援している。	受診は本人・家族の希望の主治医とし、家族の付き添いにより行い、家族の対応が困難な場合には職員が付き添っている。また、事業所は月に1回協力医2名の往診が有り、適切な医療を受けられるよう支援している。受診後は、家族に報告、受診・投薬控え帳に記録して全職員で共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常の関わりの中でとらえた変化や気付きがある場合、職場内の元看護職者に相談し助言を求め適切な対応に心かけている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の症状に応じて医療機関との情報交換を密に取り以後治療が安心して受けられるよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期のあり方については入所時に施設が出来る範囲は理解し納得してもらっている。施設内にいる限りはベストをつくす。	重度化や終末期については、入居時に説明し、その都度、家族や主治医、職員等と話し合い、医療行為が必要で入院しなければならない場合を除き、できる限りの支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に備える為、全ての職員が救急救命講習を受講しているが更なる実践力を身につけるよう定期的な訓練を図りたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の総合訓練(通報、避難、消火)を実施 消防署、防災業者、地域の住民の立会の上行っている。	併設グループホームと合同で、地域住民(元区長)等の参加により、年2回消防署立ち会いの上(夜間想定を含み)実施している。また、緊急マニュアルや通報の連絡網を作成している。備蓄も準備している。	災害対策において、幅広く地域の協力が得られるような体制づくりの検討を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重しその人に合った言葉かけやケアを職員全員で行っている。	トイレ誘導時はさりげない声かけを行い、失禁時の後処理等についても見守り、気付かれないようフォローを行う等、一人ひとりの人格を尊重したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が何か要望がありそうな様子をくみ取りさり気なく声掛けをし一対一で話し合える様働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り利用者の希望を取り入れ楽しく過ごせる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者本人の好みを活かし、その人らしいオシャレや身だしなみが保てる様支援している。(二ヶ月に一度出張美容師を利用)		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを把握又その季節の旬なものを献立に取り入れ、楽しみになる様支援している。下準備から後片付け等出来る事は一緒に行っている。	食事は、季節の食材をレシピ付きで2社より取り寄せ参考にして、敷地内で育てた野菜等も加え調理している。週に2日は、利用者の好みでパン食やうどん等を皆で考案し、配膳・下膳や盛り付けの得意な人は職員と一緒に行う等、食事が楽しみになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取量は一人一人チェックし不足しないよう配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施しており夜間は義歯を預り消毒を毎日行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し個人に合わせた排泄リズムを作り自立に向けて支援している。	排泄チェック表を作成し、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけや誘導等により排泄の自立支援を行なっている。また、頻尿の方や尿意便意が分からない方には、細かい排泄チェック表を用意し、排泄の自立にむけきめ細かな支援を行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎食の食材として繊維質を含むものを取り入れ、水分摂取の工夫や朝のラジオ体操も日課にしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	安全面を考え入浴日を決めた中でのその人の健康面や希望に合わせた入浴を行っている。	入浴は、週2回実施し、希望を聞きながら、個人毎や気の合う人同士一緒に入浴をしている。入浴時に家族の話や昔話など会話をしながら、その人の希望や思いを聞くよう努めている。また、季節の柚子湯等を取り入れて、入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人一人の希望により就寝時間、照明、騒音等にも配慮し安心して休息出来る様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人が使用している薬の用法や副作用や用量については全職員が把握しており、症状の変化を見のがす事なく確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴に応じ、その人が張り合いの持てる様環境を整え喜びのある生活が送れる様支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	安全面、健康面を考慮した上で利用者の希望に沿い、利用者全員で参加出来る様支援している。	日常的に、近隣を利用者全員で散歩している。桜や菖蒲、あじさいなど季節毎の花見に全員で出かけたり、また毎年、地域の神社への初詣に出かけたりする等楽しんで外出できるよう支援している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の理解が出来る利用者には希望に応じて使えるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じてその都度電話等のやり取りが出来る様支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの天井には空の様な青々として模様、又天窓があり全体が明るく季節感のある花、壁掛、写真等を貼り、馴染みの歌を唄い、居心地良く過ごせる様支援している。	共用の居間は天井に青空が描かれ明るく、テーブルには季節の花が飾られ、畳コーナーには炬燵があり思い思いに休んでいる。壁面には、利用者の作品や行事毎の写真、また、職員の手作りの壁掛けなどが飾られて居心地良く過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人自由に過ごせる様、コタツ、ベンチ等ゆとりのある空間を確保している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時、家族の方がゆるせる限り馴染みのある家具などを搬入してもらい落ち着いた生活が出来る様支援している。	各部屋は、手作りの表札が掛けられ分かり易く、居室内には馴染みの家具やテレビ等、また、本人の折り紙等の作品や好みの置物などが自由に飾られ、居心地良く過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心した日常生活が送れる様安全な環境づくりに配慮し一人一人自立した生活が送れる様支援している。		